

募集要項

【期間】 2021年6月～12月／全14回（うち1回は財団イベントを予定）／月2回・土曜日

【時間】 13：30～16：30（講義2時間＋ディスカッション1時間）

【場所】 憲政記念館（東京都千代田区永田町1丁目1番地1号）

【費用】 30,000円

※オンライン視聴（自宅等インターネット環境で講義視聴）も可能です。講義の翌週に、塾生専用サイトで動画をご覧頂けます。遠方の方や欠席した方など、復習の際に便利です。

「申込用紙」に必要事項をご記入のうえ、5月31日（月）までに、尾崎財団までファックス（03-3581-1856）またはメール添付（info@ozakiyukio.jp）でお送り下さい。選考に合格された方には、追って入塾手続きのご案内をお送りします。

オンライン受講プログラムは、当財団の災害復興支援事業の一環としても開催されます。東日本大震災・熊本地震をはじめとする**甚災害指定地域にお住まいで選考に合格された方は、協賛企業等の助成により受講費用を全額免除します**（ただし入塾式および卒塾式への参加に伴う交通費は、自己負担となります）。

対象となる地域および選考要件の詳細については、財団事務局までお問い合わせください。

協賛企業等： ミクニ総業株式会社、大橋物産株式会社、株式会社ニフコ、タカラベルモント株式会社、公益財団法人原田積善会、特定非営利活動法人InterNational Press Syndicate(INPS)



Ozaki Yukio

一般財団法人 尾崎行雄記念財団主宰
リーダー育成プログラム

がくどうじゅく

「第23期 号堂塾」 入塾のご案内



挑む人、選ぶ人。
変えるのは「あなた」。

明治から大正、昭和と三つの時代を駆け抜けた政治家、尾崎行雄。そのするどい演説や生涯衰えを知らなかった筆力は、時の藩閥政治や軍閥政治を次々に打破し、また現在の18歳選挙権につながる普通選挙運動の実現を切り拓く原動力にもなりました。

号堂塾は尾崎行雄の雅号・号堂（がくどう）を冠した、超党派による多彩な講師陣からの講義と塾生同士の相互研鑽によるリーダー育成プログラムです。

異なる立場や主義主張にも耳を傾け、思いを伝え、揺らぎながらも信念を確かめていく。その繰り返しがあなたの根となり、幹となります。国会議事堂と国会図書館に面した「日本の政治の中心地」で共に学ぶ機会へのご参加を、スタッフ一同、心よりお待ちしております。

財団（憲政記念館）地図



2021.3.5

Ozaki Yukio 尾崎行雄記念財団

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-1-1 憲政記念館内
TEL:03-3581-1778（受付時間 10:00～17:00）
FAX:03-3581-1856
E-mail:info@ozakiyukio.jp

交通アクセス

地下鉄	丸の内線・千代田線	国会議事堂前駅下車
	有楽町線・半蔵門線・南北線	永田町駅下車
バス	都営バス	国会議事堂前下車

全14回・42時間。学びの暁には、必ず「何かが変わる」。

号堂塾での学びは全14回。毎月2回、各界専門分野で活躍する講師の授業（2時間）と塾生同士のディスカッション(1時間)を繰り返して進められます。号堂・尾崎行雄が生涯でもっとも大事にした批判的精神「誰が正しいかではなく、何が正しいか」を感じながら、個々に策定したテーマに向かって頂きます。



(第21期・入塾式および第1回講義の風景)

異なる意見にも耳を傾けた上で「思考を鍛える」ということ

毎回行なわれる講義やディスカッションでは、異なる見方や捉え方があなたの考えを揺さぶります。この意見や主張は、本当に正しいだろうか？隣の意見は、本当に納得できるだろうか？そして私自身はどうか？大いに悩み、そして揺れてください。号堂塾は、保守の方もリベラルの方も区別なく、「政治や社会のあるべき形は何か」真剣に考えるあなたを歓迎いたします。常にあなたと同じばかりとは限らない、時には仲間の異なる意見にも耳を傾け、そして持論を展開してください。立場やベクトルの異なる意見を受け止めた上で、自らの意見も大事にする。議会であれ地域コミュニティであれ、そうした意見交換の積み重ねや繰り返しが、世の中を成熟させてゆきます。

演説の聖地・憲政記念館での「卒塾演説会」

号堂塾の卒塾式では、永田町1丁目1番地1号・憲政記念館で弁士として大いに熱弁をふるって頂きます。入塾時に定めたテーマを、毎回の講義とディスカッションを通じて練り上げ研ぎ澄まし、存分に語ってください。本気の想いを、それぞれの本舞台で語る。国会議事堂に面した政治の中心地での演説会は、尾崎行雄とあなたが一体化する、号堂塾ならではのプログラムです。また、演説の様子は技術スタッフが弁士一人ひとりの熱弁を収録。学びの証としてDVDを制作いたします。（制作は登壇者のみに限られます／費用は無料です）



(卒塾演説会の模様と制作DVD)

学びを支える、第一線の講師陣（順不同、2021年3月現在）

各界の第一線で活躍する講師陣を招いての2時間は、講師と塾生の「真剣勝負」です。国政や地方自治のあり方、また議会での争点となる様々な社会問題などを広範囲に学んで頂きます。また、17期からは政治家や地域リーダー、どちらの立場でも必要不可欠な「本物の発信力」を磨くためのプログラムも強化。各分野における発信・表現のプロフェッショナルが皆様の学びを支えます。



「尾崎行雄と相馬雪香-その信念と生き方」	石田 尊昭	(尾崎行雄記念財団理事・事務局長)
「環境問題と日本のエネルギー政策」	飯田 哲也	(環境エネルギー政策研究所(ISEP)所長)
「世界と日本経済の行方」	池田 信夫	(アグラ研究所所長/エコノミスト)
「地方自治を取り返す、ただ一つの道」	高橋 富代	(号堂塾運営委員/元下田市議会副議長)
「激震する世界情勢と日本の役割」	伊勢崎賢治	(東京外大教授/日本紛争予防センター理事)
「世界の平和をフィクションで語るなかれ」	小川 和久	(静岡県立大学特任教授/軍事アナリスト)
「日本のメディア問題」	神保 哲生	(早大院客員教授/ビデオジャーナリスト)
「地方政治と日本の未来」	北川 正恭	(早稲田大学名誉教授/元三重県知事)
「政治・選挙でネットが持つ課題と問題点」	高橋 茂	(武蔵大学非常勤講師、世論社代表取締役)
「政治と人間学」	長峯 基	(元参議院議員/元内閣府副大臣)
「少子高齢社会の現状と展望」	樋口 恵子	(NPO高齢社会をよくする女性の会代表)
「信頼を勝ち取る演説の技術」	矢野 香	(長崎大学准教授・スピーチコンサルタント)
「新型コロナウイルスが世界に突きつけた課題」	仲本 光一	(岩手県奥州保健所長・元外務省診療所長)
「憲政史から考える、わが国の政治の未来」	高橋 大輔	(尾崎行雄記念財団研究員) 他

※ 上記のテーマ・講師陣は一部変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

「学んであなたは、何をやるの。」相馬雪香からの問いかけ

初代塾長の相馬雪香（尾崎三女）が、塾生の一人ひとりに贈り続けてきた言葉があります。「学んであなたは、何をやるの。」号堂塾の卒塾生として新たな一步を踏み出してからが本当の始まり。そしてあなたにとっての「人生の本舞台」です。また号堂塾は、一度学んだだけの単なる通過点ではありません。何度でも入り直し、自らの志に磨きをかけていく。これまでも数多くの卒塾生が繰り返し学び、みずから為し遂げたい志と向き合っています。塾での学びを、いかに役立てるか。そうした方法論の構築や実践への取り組みも、運営スタッフがサポートします。